

『令和元年東日本台風』 あれから一年！

近年、豪雨災害は毎年のように発生し、各地に甚大な被害をもたらしています。昨年の『令和元年東日本台風』においては、県内で多くの方が犠牲になられたほか、多数の住家被害が発生し、避難生活を余儀なくされました。

今年も台風の季節となりました。

昨年の災害を教訓として、『**自分の命は自分で守る**』意識を持ち、地域の災害リスクを知って、被害を軽減するためにどのような行動をとればよいのか確認しましょう!!



チェックしてみましょう

①浸水や土砂災害等の危険性がありますか？

→市町村で作成している、ハザードマップを確認しましょう！

②避難する場所は決まっていますか？

→市町村が、災害時の避難先を定めています。
→安全な親戚・知人宅に相談しておきましょう！

③避難するときに必要となる物資を準備していますか？

→非常時にすぐ持ち出せるようリュックサックなどに入れておきましょう！

④避難のタイミングはいつですか？

→市町村などが、住民避難情報と併せて5段階の「警戒レベル」を発令します。
→早め早めの避難を心がけましょう！

⑤新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、 避難するの？

→災害時に、危険な場所にいる人は、避難することが原則です。

住んでいる環境により適切な避難は人それぞれです。

“自分にあった”避難行動＝『マイ避難』の準備が重要です。

「ふくしま マイ避難」で検索！



市町村を通じて全世帯配布
今すぐ確認を！



福島県では、水害から自分や大切な人の命を守るため、『マイ避難ノート』が作成されています。
市町村のハザードマップと併せてご活用ください。

ガスの取り扱いに注意しましょう！

県内にて漏れたLPガスに引火する爆発火災が発生し、多数の死傷者、広範囲の建物等に甚大な被害をもたらしました。

双葉消防本部でも、飲食店等を対象とした緊急立入検査を実施し、調理場やボンベなど火気を伴う箇所を点検し、火災予防啓発活動を行いました。



LPガスは、便利で環境にやさしい反面、正しく使用しないと火災、死亡事故につながる危険性もあります。みなさんが使用されているLPガスを理解し、取り扱いに十分注意しましょう。



LPガスの取り扱い上の注意点

- ガス機器を使用するときは換気しましょう。
- LPガスを使用しないときは、元栓・器具栓をこまめに締めましょう。
- ガス設備の点検を行いましょう。



「季節の変わり目」は身体の不調が多くなる時期です

暑い夏が終わり朝晩の寒暖差が大きくなると、自律神経の乱れが原因で身体の調整機能が低下し体調不良を起こしやすくなります。



以下の事を心掛けましょう！！

- 寒暖差をなくすために、エアコンで一定の快適な温度に保ちましょう。
外出時には薄手のカーディガンや上着を重ね着して、うまく体温調整をしてください。
- バランスの良い食事をとって、寒暖差に負けない体づくりをしましょう。
- 良質な睡眠をとることは、副交感神経を優位にし心身を疲労から回復させるのに有効です。
- お風呂にゆっくり浸かることで、体に蓄積された疲労物質を取り除く効果が期待できます。

～新任職員紹介～ (令和2年4月1日採用者)

福島県消防学校で半年間の教育が終了し、10月より各所属で勤務している職員を紹介します。

平本 拓登(ヒラモト タクト)

勤務先:富岡消防署

年齢:24歳

出身地:大熊町

住民の方々のために一生懸命
がんばります。



田中 大志(タナカ ヒロシ)

勤務先:浪江消防署

年齢:22歳

出身地:大熊町

住民の方々の安心・安全
を守るために頑張ります。



令和2年度全国統一防火標語『その火事を 防ぐあなたに 金メダル』



連絡先

双葉消防本部 0240-25-8523
富岡消防署 0240-22-2119
檜葉分署 0240-25-2119
川内出張所 0240-38-2119

消防指令センター 0240-25-8561
浪江消防署 0240-34-4111
葛尾出張所 0240-29-2119

